

学外に飛び出して 「伝わるアート」 に挑戦!

芸術作品か、商業デザインか。そんな垣根を超え、写真や映像を中心とした「伝わる」表現を追求する甲野研究室。百貨店と連携したバレンタインのディスプレイデザインや舞台芸術とのコラボレーションなど、大学から外へと飛び出し、新しい表現の可能性に挑戦している。



芸術学部
デザイン学科
甲野研究室
甲野 善一郎 准教授



創造の苦しみと達成感を味わうことが成長につながる。

学生一人一人の表現力を磨く場となっているのが、毎年秋に開催する「ゼミ作品展」。テーマに沿って各自が春から練り上げた作品を、街なかの崇城大学ギャラリーで発表し多くの人の評価を受ける。「成長の第一歩は羞恥心や自分の殻を破ること。学生の間に生みの苦しみと達成感を味わうことが社会に出て役に立つ」、甲野准教授の指導はどこまでも実践的だ。



平成29年11月に行われた「ゼミ作品展」の会場で。

固定観念にとらわれない新しいステージでの表現。

「固定観念を打ち破る発想」と百貨店にも喜ばれるバレンタイン・ディスプレイは、全国的な賞を受賞するなど毎年高い評価を受け、平成30年で5年目を迎える。また、今秋はバレエやオペラの舞台にプロジェクトマッピングで参加。大きな反響を得た。自らも写真家として精力的に創作を続ける甲野准教授。そこに集まるクリエイター集団は、日々進化を遂げている。

2017モダンアート 写真部門 入選作品 「氷上の痕跡」

写真表現の新たな可能性を追求した作品。質感、立体感、触感をマテリアルに工夫することにより、触って見る写真を表現しています。



左から

4年生 神永さん(熊本県/千原台高校出身)
4年生 平原さん(福岡県/田川高校出身)
3年生 洲上さん(熊本県/水俣高校出身)
3年生 小林さん(福岡県/光陵高校出身)

修士課程1年 福山さん(熊本県/熊本工業高校出身)
3年生 白石さん(熊本県/済々黌高校出身)
3年生 源嶋さん(熊本県/多良木高校出身)